

- 問1 京都府は、近畿地方の他府県と比較して国宝・重要文化財に指定された建造物の数が非常に多いという特色があります。このように多くの歴史的遺産が現代まで失われずに残った主な理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2015年 富山県公立入試 類似）
1. 長期間にわたって政治・文化の中心地であり続け、さらに第二次世界大戦時の大規模な空襲被害を免れた地域が多かったため。
 2. 盆地特有の湿潤な気候が、木造建築物の腐食や火災の発生を千年以上もの間、自然に防いできたため。
 3. 明治時代以降、急速な工業化が進んだ際に、古い建造物をすべて山間部に移築して保護する政策がとられたため。
 4. 江戸時代に幕府が置かれたことで、江戸（現在の東京）と並ぶ大規模な都市再開発が常に行われてきたため。
- 問2 近畿地方の各府県を比較した統計において、面積が約5,777平方キロメートル、人口が約184万人であり、製造業出荷額等が約9兆4,500億円と極めて高く、かつ海面漁業生産額が約489億円に達するなど、工業と水産業の両方が盛んな特徴を持つ県はどこですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 奈良県
 2. 滋賀県
 3. 和歌山県
 4. 三重県
- 問3 歴史的な景観を保護する取り組みが進んでいる地域において、実際に導入されている具体的な景観対策として正しいものはどれですか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 効率的な物流を実現するため、古い街並みを解体して道幅の広い直線道路を整備する
 2. 観光客の利便性を高めるため、寺社の境内に近代的な大型ショッピングモールを併設する
 3. コンビニエンスストアなどの看板の色を、周囲に馴染む落ち着いた茶色や白に変更する
 4. 夜間の視認性を高めるため、すべての看板に原色のネオンサインを使用させる
- 問4 近畿地方の各府県を比較した統計において、人口が多く、小売業の年間販売額が大きい地域ほど、情報通信業などのサービス業が盛んであるという傾向が見られます。この産業が都市部に集中する理由として最も適切な説明を選びなさい。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. 木材を生産する林業や、作物を栽培する農業といった第1次産業と同様に、広大な土地と豊かな自然環境を必要とするため。
 2. 情報の伝達や処理には、顧客となる企業や個人が密集している方が需要が多く、高度な通信網などのインフラも整備しやすいため。
 3. 地価の高い都市部を避け、労働力を安く確保できる過疎地域に大規模なサーバーセンターを設置することが産業の主目的であるため。
 4. 建物を造る建設業などの第2次産業と同様に、重い原材料を運ぶための港湾施設や大規模な工場用地が立地の絶対条件となるため。
- 問5 近畿地方の工業統計において、大消費地である都市部に立地する利点を生かした「都市型工業」が発達している大阪府の特色として、近隣の府県に比べ出荷額が著しく多い工業分野はどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 食料品製造業
 2. パルプ・紙製造業
 3. 印刷・同関連業
 4. 繊維工業
- 問6 滋賀県の琵琶湖で水質保全活動が重要視されている理由について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、統計上、大阪府では人口の約99.6%、京都府では約70.6%が琵琶湖を水源とする水を利用しており、これらの府県の下流地域は、人口密度が1平方キロメートルあたり2,000人を超える非常に高い地域となっています。（2022年 岩手県公立入試 類似）
1. 琵琶湖の水は滋賀県内のみで消費される仕組みになっており、下流の府県では農業用水としてのみ利用されているから。
 2. 下流の大阪府や京都府は人口密度が低いため、水の需要が少なく、水質が悪化しても社会的影響が小さいから。
 3. 琵琶湖の水質が悪化すると、下流にある大阪湾の塩分濃度が急激に上昇し、漁業に深刻な被害が出るから。
 4. 琵琶湖から流れる水は、人口密度が高い下流地域の膨大な数の人々にとって、欠かせない生活用水となっているから。
- 問7 世界文化遺産に登録されている熊野古道周辺の地域では、貴重な歴史的景観を維持しながら地域の発展を図る取り組みが行われています。和歌山県などの自治体が進めている、この地域における「観光」と「環境」の関係についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 自然環境を保護するために、観光客の立ち入りを全面的に禁止し、学術調査のみが行われる区域として管理している。
 2. 伝統的な景観を重視するため、宿泊施設などの観光に関連する新たな施設の建設を一切認めない方針をとっている。
 3. 歴史的な山道や周辺の自然環境を適切に保全しつつ、それらを地域の資源として活用して観光の振興を図っている。
 4. 大規模な土地造成を行って山道を舗装し、観光バスが山頂付近まで直接乗り入れられるように整備を優先している。
- 問8 日本の都市開発において、神戸市のように山地を削って住宅地を造成し、その土砂で海を埋め立てて人工島を築く手法がとられることがあります。1975年から1980年にかけて須磨区の人口が急増した背景にある、都市基盤整備と人口動態の関係を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 大規模な人工島の造成が完了し、区内の全住民が島内の新市街地へ移住したため。
 2. 都心部での再開発が完了し、職住近接を求める層が周辺区から流入したため。
 3. 高速道路網の整備により、近隣県から農村部への逆都市化現象が起きたため。
 4. 郊外の丘陵地に整備されたニュータウンにおいて、住宅団地への入居が開始されたため。
- 問9 滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、三重県などの近畿地方の諸県と比較した際、兵庫県の県庁所在地である神戸市の立地や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 内陸の盆地に位置し、かつて平城京が置かれた歴史的景観を維持している。
 2. 日本最大の湖である琵琶湖のほとりに位置し、北陸地方との結びつきが強い。
 3. 大阪湾に面しており、山地と海の間に限られた平地に位置する国際貿易港である。
 4. 淀川の河口付近に広がる平野に位置し、商業や金融の中枢機能が集中している。
- 問10 近畿地方の都府県に関する統計において、人口が約556万人、工業製品出荷額が約14兆円という高い水準にあり、大阪府に次いで工業が盛んな県はどこですか。（2015年 富山県公立入試 類似）
1. 三重県
 2. 滋賀県
 3. 京都府
 4. 兵庫県
- 問11 京都の産寧坂のように歴史的な町並みを残す地域では、以前は空を遮るように張り巡らされていた電柱や電線が、現在では姿を消し、景観の見通しが非常に良くなっている事例が見られます。このような景観保全のための取り組みの名称として、最も適切なものはどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. 市街地再開発事業
 2. 道路の拡幅工事
 3. 電線の地中化
 4. 建物の高層化
- 問12 近畿地方に位置する兵庫県の文化財や地域的特徴に関する記述として、2014年時点の統計に基づいた適切なものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）
1. 建造物の国宝・重要文化財の指定数は全国で12位であり、人口や面積の規模に比べて文化財が少ない。
 2. 面積が全国で4位と非常に広く、その広大な土地の多くが重要文化財の指定範囲に含まれている。
 3. 建造物の国宝・重要文化財の指定数が全国で4位であり、近畿地方の中でも多くの文化財を保持している。
 4. 人口が全国で4位であり、重要文化財の指定数も大阪府や三重県を抑えて全国で最も多い。